

# 登録ボランティアのみなさまへ ボランティア登録継続意思確認のご案内

ボランティアグループに  
所属している人は

グループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをする場合があります。登録内容（住所・氏名等）の変更がある場合は、事務所に申請書を提出してください。

個人で登録した  
ボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を行いますので、継続・休会・登録抹消のいずれかを連絡してください。2月16日（金）までに返送をお願いします。センターを通して、定期的に活動依頼のある方には、活動確認を行いませんので、休会や登録抹消の意向がある場合は、その旨をセンターへ連絡してください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をする時確認された時点で保険加入の手続きを行います。

活動を始められる際はボランティアセンターまでご連絡ください。また、活動していただくにあたって、依頼元（個人・団体）からセンターへ依頼書と活動報告を提出していただく必要があります。

詳細はセンター事務所へお問い合わせください。

## ボランティアセンターで避難訓練

12月19日（火）、ボランティアグループ連絡会のリーダー・役員、センター職員で、ボランティアセンター1・2階、給湯室から出火という想定の下、センター利用者全員をセンター前の広場へ誘導、点呼確認した後、消火器や避難梯子の使用法を検証しました。

リーダー会議（12月19日）

☆会長挨拶

・この一年のお礼と来年にむけて想定される課題等

☆連絡会より

・登録ボランティア交流会について、センター登録団体並びに来賓各位への参加要請とグループ紹介の原稿送付について

・ボランティアセンター消防訓練の実施（4頁参照）

☆センターより

・厚生労働大臣表彰伝達式について（2頁参照）

・連絡会助成金に関する会計処理について、2月20日の役員会で研修会を開催。グループの会計担当者は同席ください

・ボランティアサロン開催について（2頁参照）

・お互いさんの交野のまちづくり講座（4回目・生活支援）について（2頁参照）

・黒板消しクリーナーについて、1階に設置しているクリーナーを供用してください

☆各グループ報告（省略）

|   |   |
|---|---|
| 後 | 編 |
| 記 | 集 |

年齢を重ねると、同級生との繋がりが減ってきます

が、高校時代の友人たちと、たまに連絡を取り合っています。皆それぞれにいろんな仕事をしていて、そんな中で最近とても誇らしいなあと思えることがあります。

雑貨店を経営している友人がいて・・・昔から行動派の彼女は、年に数回ニューヨークへ買い付けに行き、そこで気に入った雑貨たちを連れ帰ってくるそうです。その彼女のお店がテレビ出演することに・・・

これまでも素敵な雑貨がいっぱいのお店として雑誌に紹介されることもありましたが、テレビに映るなんて、彼女の誇らしげな様子が想像されます。友人の活躍は自分の活力にもなります。近々、遊びに行こうと思っています。テレビ効果はあるのかなあ？

（クローバー）

## 1・17

### ぼうさい甲子園

阪神淡路大地震から23年、その後2011年3月に東北地方を襲った東日本大地震。さらには昨年4月の熊本地震など大地震をはじめ、豪雨災害など毎年のように大きな災害に見舞われたる日本列島。日頃から災害への備えを怠ってはならないと、全国でいろいろな取組みがされている。

そんな中で昨秋、大阪府市町村ボランティア連絡会のテーマ別研修会が開かれ、特定非営利活動法人「さくらネット」の河田のどかさんが推進している「ぼうさい甲子園」の事業（事例）が紹介された。

まずは子どもの中から防災を意識しよう、子どもを中心とした防災学習の実践、学習を通して地域とつながる活動である。阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくために学校や地域で防災学習や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業であった。河田さんは、この運動がさらに地域で拡げるためには、学

（2頁下段に続く）



# なかま

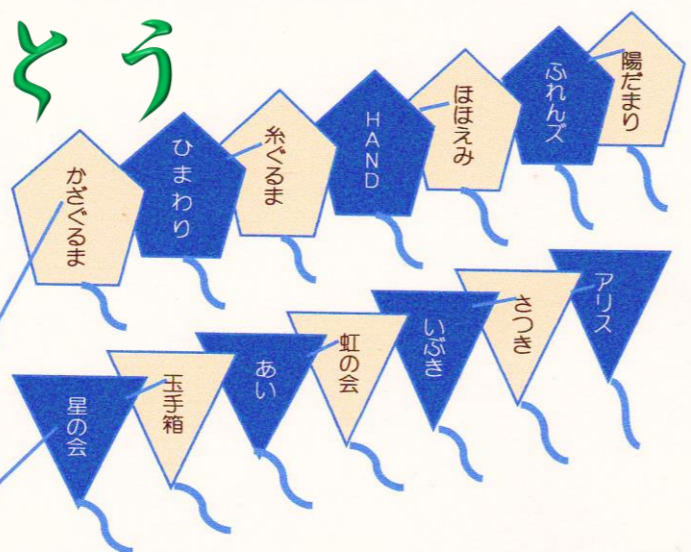
発行 交野市ボランティアグループ連絡会  
(交野市ボランティアセンター内)  
V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp  
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを  
紹介してほしい人  
ボランティア活動を  
はじめたい人  
ボランティアセンター  
にお問い合わせください  
(☎894-3737)

## 新年おめでとう

### ございます

平成30年元旦



ボランティアのみなさん、並びに  
ご家族のみなさんのご健勝とご多幸  
各グループ活動の発展、そして社  
会が平和で穏やかな年でありますよ  
うご祈念申し上げます。

交野市ボラ連役員一同



1月のボランティアサロン

### ボランティアおしゃべり会

ボランティアを知り、交流・体験するボランティアサロン。1月は、ボランティア活動についてのおしゃべり会を開催します。ボランティアに関心のある方や活動中の方はぜひお気軽にご参加ください。

とき 1月29日(月)午後1時30分〜3時  
ところ 交野市ボランティアセンター2階活動室  
対象 交野市と周辺在住、在勤の方  
参加費 無料  
申し込み ボランティアセンターまで

### 登録ボランティア交流会

2年に1度の顔合わせ、  
センター登録のボランティアさん  
みんなで楽しいひとときを！

日時 平成30年2月18日(日) 13時30分〜16時  
場所 ゆうゆうセンター4F 多目的ホール  
会費 300円  
内容 ・グループ紹介  
・ゲーム  
・楽器演奏と歌  
・歌体操  
・じゃんけんゲーム  
等々で、楽しく交流します。

(1頁下段から続く)  
校と地域がふれあえるもの、その接点となるイベントなどの企画が極めて重要な要素になる。  
例えば  
◎今あるものを活用する。  
◎福祉教育に際し一つのアイデアをのせる  
◎運動会に防災意識を採り入れるなどの工夫をしていけば地域での拡がりや運動の深化が期待できると結ばれた。  
年頭にあたり、まずは自分の身の回りから災害に対する備えがどれだけ出来ているのか検証することから始めてみよう。(K記)

厚生労働大臣表彰受賞  
個人 菊田広子さん(あい、かぎぐるま)  
団体 介護衣料「糸ぐるま」



今年の厚生労働大臣表彰の伝達式が12月14日(木)、大阪府庁で行なわれました。表彰はボランティア活動で地域振興に大きな貢献をされた個人並びに団体に厚生労働大臣から贈られるもので、交野市から個人で菊田広子(写真上)さん、団体で介護衣料「糸ぐるま」(写真下)が受賞されました。



表彰状を手に喜びの「糸ぐるま」のみなさん

### 交野のまちづくり講座(4回目) 生活支援の「イ・ロ・ハ」

高齢者を支える「生活支援」について学んでみませんか？ 暮らしの中でできるちよつとした手助けについて、実例や体験談をまじえながらお伝えします。「自分ができるか分からないけど、話だけでもききたい！」という方も大歓迎です。  
日時 平成30年1月31日(水) 13時30分  
場所 ゆうゆうセンター3階 研修室  
参加費 無料  
定員 30人  
申し込み 交野市社会福祉協議会  
(施設コミュニケーション・シャトルワーカー)  
社会福祉法人 豊年福祉会 松葉 智子氏  
(電話) 895-1185  
(Fax) 895-1192

### クリスマスって何よ！

日本ではキリスト教徒でもない人も、いつからクリスマスを祝うようになったの、クリスマスが年中行事となったのは、昭和3年と朝日新聞が報じています。宗教上のことはさておき、商業的な面から普及したといわれています。日常生活に深く関わりを持つようになったのは戦後とか、和魂洋才型のクリスマスは日本独自の祭りとして生活の中に浸透してきましたね。



でも毎年、お正月も近くクリスマスケーキだの、プレゼントは何がいいの、と物入りで頭を悩まします。誰にも小言も言えず、一人でぶつぶつ……。  
(主婦 74歳です)

「ほほえみ」  
クリスマス会  
12月21日今年最後の活動日にクリスマス会をしました。日ごろ午前中はペットボトルのキャップの整理作業をしますが、うまい具合に、この日はあまり集まっていなかったのに、朝から活動室をタペストリーや、モールなどで飾り、みんな合奏し、簡単なゲームや川柳クイズで盛り上がりました。最後に、メンバーの方にささやかな、プレゼントをして喜んでいただきました。



川柳クイズやゲームを楽しみました



タペストリーなどで飾り付けました



### わが家の冬至

「12月22日。あっ今日は冬至」南瓜を食べなければ・・・ゆず風呂・・・  
冷蔵庫を見たら、先日食べた、宿儺(すくな)かぼちやの残りを知り合いからいただいたレモンが数個。よし、これで間に合わそう。  
かぼちやのスライスを味噌汁に入れてと思って、お椀に入れたらなんと、煮崩れてパンクンスープになってしまいました。お風呂にはレモンの輪切りがプカプカ。  
我が家の冬至でした。(K子)

門松は冥土の旅の一里塚  
年が明けた、めでたい正月に水を差すようであるが、正月を題材にした「存じの休さん(二休宗純)の狂歌である。このあとに「めでたくもあり、めでたくもなし」と続く。何と皮肉な一句であろうと思う。でも考えてみれば超高齢化の時代に生きる現代人にとって、ここらで一息立ち止まって人生を振り返ってみることも、あながち無意味とは思えない。(S記)



### みんなの広場

### 百歳人生を生きるヒント(五木寛之著) これまでの価値観では語れない時代だ

大長寿社会を迎えた、人生100年時代とも言われる日本。これからの長い道をどう歩んでいけばいいのか。その水先案内をしてくれるのが「百歳人生を生きるヒント」(五木寛之著)だ。未曾有の長い人生が待っている。長すぎる人生をどう味わうか。変化に戸惑う大人たちに新しい生き方を提言している。50歳から10年ごとに区切ってみたらと

勧めている。50代Ⅱ下山の人生を歩く覚悟を決める。60代Ⅱこれまでの生活をリセットする。70代Ⅱ下山の途中のなだらかな丘を楽しむ活力を補充する。80代Ⅱ社会的なしがらみを捨て、自分に忠実に生きる。90代Ⅱ体は不自由でもこれまでに培った妄想力で時空を超えた楽しみに浸る等々、人生の節目で考えさせられる。私のお薦めの一冊である。(AB男)